

世界でも稀な流氷歩き 地の果て知床の大自然を感じる旅 3日間 《持ち物リスト参考例》

持 ち 物	備 考
帽 子・サングラス	防寒用(耳を隠す事が出来るもの。)紫外線(UV)カットのもの。裸眼では雪目になる恐れあり。晴天の際はサングラス、吹雪や低温の際はゴーグルが適しています。
アウターウェア上下、 または雨具上下	雪山用の防風、防寒、防水ウェア。ゴアテックス等の防水透湿性素材のジャケットとパンツ。ジャケットのフードが深く顔が露出しないもの。防水透湿性素材で生地には厚みのある、しっかりした雨具であれば代用可。
ミドルウェア上下	登山用でウールやフリースなど保温性の高いもの。綿製品は不可。
アンダーウェア上下	綿製は不可。化繊またはウール製などで保温性の高いもの。
手 袋	ウールやフリース製などの保温性の高い物。予備もお持ち下さい。薄手のインナー手袋を併用すると細かい作業時に重宝します。
オーバー手袋	必携です。深雪時、強風時などに手袋を重ねて使用。
靴下	ウール製が快適。靴ずれ対策や防寒として薄手のインナーソックスに中厚の靴下を重ねてはくのもよい。予備もお持ちください。
登山用パック	必要な荷物が入る容量のもの。雪山ではシンプルなザックがよい。
登山靴	くるぶしまで隠れるミッドカット以上の登山靴、トレッキングシューズ。防水性、保温性があるもの。2日目のスノーシューハイク時に着用します。
ロングスパッツ	雪が靴の中に入るのを防ぎ、保温性を高めます。ショートスパッツは不可。
ストック	スノーシューハイクの際に使用。ストックがなくとも歩けますが歩行に不安な方はご持参ください。スノーバケットもご持参ください。
目出帽	天候の悪いときに使用します。ウール、シルク、フリース製など。
ヘッドランプ	ヘッドランプは登山の必須アイテムです。非常用として、日帰り登山でも、行動中は必ず携行してください。懐中電灯は不可(予備電池もご用意下さい。)
スタッフパック	濡れてはいけないウェアやギアをパックに収納する際に利用。
水 筒と テルモス(魔法瓶)	水筒とテルモス(魔法瓶)の併用が望ましい。
日焼け止め	日焼け止めクリーム、リップクリームなど必要に応じてお持ち下さい。
健康保険証	万が一のために。コピー不可。
ビニール袋	ゴミや濡れものの持ち帰りに。大・小数枚。
個人用医薬品	持病薬、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤、カットバンなど。

【知床の気候(3月)】

3月上旬の知床・斜里町は厳冬期のため雪と氷の世界です。平均気温は-2℃程度。平均最高気温 2℃程度、最低気温-8℃程度。風が吹くとさらに寒く感じますので十分な防寒着が必要になります。

【スノーシューハイクのレンタル(無料)】

ご希望の際はアルパインツアーへお申込みください。数に限りがございますのであらかじめご了承ください。

■長靴(17cm~30cm)

※サイズは1cm刻みのみ。防寒性の高いものではなく、通常タイプの長靴です。厚手の靴下をご用意ください。

■スキーウェア上下(男性用 M・L・XL・XXL、女性用 S・M・L・XL、キッズ 130・140・150cm)

※お客様のお召し物の上から着用していただきます。動きやすい服装でお越しください。

■防水性のスノーグローブ、ニット帽

【流氷ウォーキングのレンタル(無料)】

■流氷ウォーキングのドライスーツは予約不要で準備しております。動きやすい服装でお越しください。

※以上の装備は、必要最小限と思われるものです。旅を快適にお過ごしいただけますよう、必要と思われるものを各自ご持参ください。宿は、寝巻や歯ブラシ、タオルなどの基本的なアメニティはございますが、必要に応じて宿泊に必要なものをご持参ください。

※余裕を持ってアクティビティを楽しむために無駄な荷物は極力省き、軽量化の工夫をしましょう。